



## 「フランスの女性教育者、パリ・コミューンの女性活動家による男女平等に拓かれた教育」

法文学部 教授 金山 富美

世界初のパリテ民主主義国家であるフランスは、今なお様々な分野で平等社会の実現を目指してやまない。就いては男女平等の最重要点の一つが教育問題であることは言うまでもなく、内実ともに平等な教育の中でこそ真に考える力は醸成され、そこで獲得された自己と自己への自信が、個人はもとより社会の更なる一歩を刻む。

金山研究室では、フランス公教育史において最も大きな壁であった女子教育の脱宗教化を実質的な部分で支えた女性教育者を掘り起こし、その現場教育の実態と彼女の著作活動に関する研究に取り組んでいる。

また、この女性教育者の活動と思想が、パリ・コミューンの女性たちの運動と有機的な関係をもつと考えられることから、これらコミューンズにも光を当て、その言説や諸活動の調査研究を通して教育の民主化の姿を具体的に提示し、現代フランスの男女平等に拓かれた教育の道程を明らかにするべく、研究を進めている。



マリ・パップ＝カルパンティエ執筆の各種教科書  
(学校だけでなく家庭用教本としても用いられた)



パリ・コミューンの女性闘士  
ルイズ・ミシエルの銅像